

小学校 全 学年＜全一（２）＞

学 年	1 ～ 6 年	時 間	学校行事 火災発生時の避難訓練と消火見学、(体験)	時 期	5 月	時 数	1 時間 (45分～60分)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災発生に対して、全児童が適切な指示に従い、敏速に統制のある行動をとり、安全に避難することができるようにする。</li> <li>・ 消火の見学（体験）をすることにより、火の怖さを知るとともに安全な消火器の使い方を知る。</li> </ul>						
資料・準備	消火栓・ホース、消火器（期限切れの消火器、期限切れのものが無い場合は相談してください）、ポンプ車、オイルパン、水消火器（消防署等で準備）						

展開

- 1 非常ベル（火災報知設備）と校内放送による児童の避難（身近な避難経路を経由し避難場所へ避難）
  - ・ 避難経路の確認（防火扉・シャッターを閉める）
  - （・ 通報訓練・・・職員室在勤者）
  - ・ 鼻・口の保護（煙・有毒ガス）
  - ・ 放送設備またはハンドマイクの活用
  - ・ 「お・は・し・も」の約束の徹底
- 2 避難後、児童数及び児童の様子を確認→ 全体の掌握
- 3 避難総括
  - ・ 校長、安全担当の話
- 4 消火見学・体験と火災の特徴、安全な避難の講義
  - ・ 協力団体（消防署）に依頼
  - ・ 学校設備の消火栓ホースにより教職員が消火体験、児童は見学
  - ・ 学校設置、または協力団体持参の消火器による消火体験と見学
- 5 全体総括と今後の心得
  - ・ 消防署員の話



消火器の使い方指導



消火器で消火体験

【工夫例】

☆地域と連携→ 地域への学校開放日の1時間に設定し、校区住民に広める。

☆保護者(P T A組織)と連携→ 参観日の1時間に設定し、親子で実施し、家庭啓発とする。

その後、3年～6年は教科学習、1、2年は短学活で事後指導を行う。

関 連 す る 教科・領域等	(学級活動) 事前指導
協 力 団 体	東部・中部・西部各広域消防局、各地域担当消防署